

■神戸港港湾審議会 第45回環境整備負担金部会 議事要旨

1. 日 時：令和8年1月20日（火）10：28～10：54
2. 場 所：神戸市役所1号館28階 神戸市会第4委員会室
3. 出席委員：伊藤 秀和 部会長（リモート参加）
齊藤 由里恵 委員（リモート参加）
黒田 武志 委員
赤田 かつのり 委員
渡辺 真二 委員
船越 照平 委員 代理：濱崎 浩 氏
久保 昌三 委員 代理：稲田 重彦 氏
森本 泰暢 委員 代理：西川 恵太郎 氏
吉岡 幸治 委員 代理：西澤 昭徳 氏
峰本 健正 委員 代理：岡村 知則 氏
出席委員10名（うち代理5名）
4. 市側出席：港湾局 小沢副局長、経営企画課 竹内課長（調整担当）
（松下係長、村上）

5. 議事次第

- ① 開会…10：28
- ② 委員の出席状況報告…委員11名のうち10名が出席しており、「神戸港港湾審議会条例」第6条第2項に定める定足数を満たしていることを確認した。
- ③ 委員の紹介
- ④ 審議…令和7年度港湾環境整備負担金に関する負担対象工事の指定について
- ⑤ 質疑応答

（委員）事業者の負担を軽減する分はどこから拠出するのか。

（事務局）工事費は年度間で非常にばらつきがある。そのため、1号工事の負担割合を調整し、年度間の負担の平準化を図っている。

（委員）事業者が負担する分以外は港湾事業会計から拠出するという理解で良いか。

（事務局）そのとおり。

（委員）元々、工事の計画自体に異議を唱えている。市民の負担がその分増えることも大変懸念している。

（委員）毎年の負担額にばらつきがあると企業経営に影響が出て、経済活動を阻害する要因にもなる。1カ年だけで負担を求めるのではなく、負担額を平準化できるような考え方を用いることが今後あっても良いと思う。

（事務局）人件費や物件費が高騰し、工事費が上昇している中で、一時期に多額の負担が生じないよう工事の進捗上の工夫は行っている。

（委員）必要な工事を必要な時期に行うということは重要だと思う。そのほか、負担割合の算出方法を変えるということもあり得ると思うので、事務局で検討していただきたい。

- ⑥ 議決…採決の結果、賛成多数（1名反対）により原案を可決した。

- ⑦ 閉会…10：54